「HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物の探索的研究」

「HIV 感染者における HIV、肝炎ウイルス、性感染症及び日和見感染症病原体に関する研究(承認番号：20-31-1120)」又は
「HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究(承認番号：28-38-1211)」
にご協力いただいている患者さんへ

2025 年 8 月 14 日

平素は私ども感染症分野・感染免疫内科の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

皆様のご協力を得て、私どもは日本の社会において流行する様々な微生物の研究を行っております。このうち、HIV に関する研究をさらに深めるため、『HIV 感染者における HIV、肝炎ウイルス、性感染症及び日和見感染症病原体に関する研究(承認番号 20-31-1120)』(当時の研究代表者：岩本愛吉前教授)及び『HIV 感染者の罹患する HIV 及び微生物に関する研究(承認番号 28-38-1211)』の研究を引き継ぎ発展させ、継続することといたしました。そのため皆さまからご提供いただきました血液試料等を東京大学医科学研究所、国立感染症研究所、熊本大学へ提供し、更なる解析に使用させていただきます。また、1980 年以降に感染免疫内科にて HIV 診療をお受けになり 2000 年 3 月末日時点で当科に通院の無い患者様の、当時臨床上必要と判断され、保管されていた試料及び診療情報も使わせて頂きたいと考えております。そのため、以下、概要を説明させていただきます。

【研究の目的と方法】

本研究は、①感染している HIV ウイルスの研究であり、薬剤耐性や微量なウイルス量の解析などを行います。HIV 治療薬の服用状況によって、そのお薬の効かないウイルス(薬剤耐性ウイルス)が新しく出現してしまうことがあり治療上重要な問題となっております。それぞれの患者さんにどのお薬が最も有効であるのか、ということ調べることで、HIV 治療薬の選択に役立てたいと考えています。加えて、血液検査でウイルスが検出されないほど少ない時にも、潜伏している細胞があることがわかっています。この少量 HIV を検出する方法を開発したいと考えています。

また、②HIV に感染されている方の各種感染病原体に関する研究を行います。HIV に感染すると免疫力の低下とともに、様々な感染症にかかりやすくなります。これらを日和見(ひよりみ)感染症といいます。また、HIV 感染には、ウイルス性肝炎や、癌化をきたすウイルス、その他の性感染症の合併が高頻度に認められます。同じ病原体でも、HIV に感染されている方に合併感染するものと HIV に感染されていない方に感染するものでは異なった特徴を持っていることがあり、これらの病原体についても、その遺伝子配列、病原性を研究することは重要で、明らかにしたいと思っております。

【対象となる患者様にご協力いただきたいこと】

上記『HIV感染者におけるHIV、肝炎ウイルス、性感染症及び日和見感染症病原体に関する研究(承認番号20-31-1120)』又は『HIV感染者の罹患するHIV及び微生物に関する研究(承認番号28-38-1211)』にご提供いただきました患者様(既に亡くなられた方々も含みます)の、試料等及び診療情報を本研究にも利用させていただきたいと思っております。また、1980年以降に感染免疫内科にてHIV診療をお受けになり2000年3月末日時点で当科に通院の無い患者様の、当時臨床上必要と判断され、保管されていた試料及び診療情報も使わせて頂きたいと考えております。

【個人情報の保護】

試料及び診療情報は、上記の研究の元で付された符号により引き続き厳重に管理し、研究に用います。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV感染症研究の進展につながることを期待できます。

不利益・・・保存されている試料及び診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究期間等】

研究期間：2022年1月21日～2026年12月31日

試料・情報の利用開始日：2022年1月21日

【研究実施体制】

本研究全体の研究代表者：東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科 特任教授 四柳 宏
共同研究機関の研究責任者：

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター 室長 立川 愛
熊本大学エイズ学研究センター 教授 上野 貴将

*共同研究機関は追加される可能性があります。

【研究協力の辞退について】

本研究にご自身の試料及び診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の試料及び診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報は厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

もちろん、試料等は匿名化した状態で各機関へ提供しますので、皆様の個人情報先方に渡ることはありません。これらは引き続き本研究所のもとで、厳重に管理いたします。どうぞご安心ください。なお、上記の共同研究は、本研究所ならびに国立感染症研究所（承認番号 572）、熊本大学(承認番号 1135 号)の倫理審査委員会の承認を得ていることを申し添えます。

ご理解のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

詳しい研究内容をお知りになりたい場合や、ご質問・ご要望等がございましたら下記までご連絡ください。

問い合わせ窓口：

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

よつやなぎ ひろし
四柳 宏

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話： 03-5449-5338, Fax： 03-5449-5427

E-mail; yotsudid@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】
研究所長名：岩間 厚志
住所：東京都港区白金台 4-6-1
ホームページ：<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>
研究倫理支援室：<https://ore-imsut.jp/>